

## 宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の平成28年度決算に基づく各数値は…

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準(イエローカード)を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化基準	財政再生基準	備考
	平成28年度	平成27年度			
①実質赤字比率	—	—	12.52%	20.0%	一般会計等の実質収支は約20.7億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.52%	30.0%	全会計の実質収支は、約30.2億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	7.3%	7.4%	25.0%	35.0%	【0.1ポイント改善】 特別会計を含む市全体の元利償還金の減が主な要因です。
④将来負担比率	10.7%	17.8%	350.0%		【7.1ポイント改善】 基金等充当可能財源の増が主な要因です。
⑤資金不足比率	—	—	経営健全化基準 20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

### ○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標(①～④)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、財政健全化計画を策定し、自主的かつ計画的に財政の健全化に取り組むこととなります。

### ○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標(①～③)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、財政再生計画を策定し、国等の監督の下、確実な財政再建に取り組むこととなります。

## 宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約20.7億円の黒字

(単位:千円)

区分	対象会計		実質収支額		
			平成28年度	平成27年度	増減(H28-H27)
連結実質赤字比率の対象	①	一般会計等 (新技術特別会計含む)	2,074,389	1,278,522	795,867
	②	国民健康保険事業 特別会計	0	0	0
	③	介護保険特別会計	31,216	40,609	△ 9,393
	④	後期高齢者医療 特別会計	0	1	△ 1
	⑤	水道事業会計	966,251	792,730	173,521
	⑥	公共下水道事業 特別会計	213	5,234	△ 5,021
	⑦	農漁業集落排水事業 特別会計	0	0	0
	⑧	港湾事業特別会計	30	1	29
	⑨	土地区画整理事業特別 会計	129,908	73,479	56,429
計(①~⑨)	連結では約32.0億 円の黒字	3,202,007	2,190,576	1,011,431	
⑩ 標準財政規模			19,565,742	19,479,270	86,472
実質赤字比率(%) : ①/⑩			△10.60%	△6.56%	0.98%
連結実質赤字比率(%) : (①~⑨)/⑩			△16.37%	△11.25%	△0.06%

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は負の値で表示されていますが、黒字であることを意味しています。